

## 議員定数46人に

本市議会の議員定数は、条例で15年1月1日からは38人と定めていましたが、合併特例定数で現在46人となっています。

この合併特例定数が20年4月30日までとなっていることから、議会運営委員会は、議長から「福山市議会議員の定数」について3月12日に諮問を受け、議論を重ねた結果、46人が適当であるとの答申をしました。

その後、3月26日の本会議で議員発議により、次の一般選挙は議員定数を46人とすることを全会一致で可決しました。

平成の大合併が推進され、本市も内海町、新市町、沼隈町、神辺町との合併を行い、人口は約8万人増の約47万人、面積は約154km<sup>2</sup>増の約518km<sup>2</sup>となりました。

議員は、合併町を含め多くの市民の負託に応え、その意見や声を市政に届け反映させる重要な使命を持っていますので、その数を、中核市などの人口や面積、また議員1人当たりの人口などを参考とし、これまでどおり人口1万人に議員1人としました。

## 議員研修会

『最近の経済動向と

魅力溢れるまちづくり

への課題』

講師

日本銀行広島支店

支店長 迫田敏高さん

2月16日、福山市出身である迫田さんの講演は、「景気は良くなったと言われますが、何かおかしいと思いませんか、この国は？」で始まり

ました。  
※軽佻浮薄な世の中、「虚」がびこり実体がかみにくい社会であり、「当たり前」の事を当たり前に行っている、そんな社会に戻さなければ大変なことになる」とまず指摘され、



経済動向を詳しく分析されたデータを基に、住みやすさを実感するには、家庭部門への景気伝播が最大の課題と主張されました。

そのような中で、魅力溢れるまちづくりには「福山らしさの情報発信」が不可欠であること、21世紀は女性の時代であり「女性を意識した社会づくり」が重要であること、そして、高齢化社会を迎え、シニアに住みやすい場所にし、活用を提供するなど「高齢化の進展をどのように活かすか」という発想も必要であることなどを率直に述べられ、議員並びに職員の意識向上に、大変有意義な研修になりました。

※軽佻浮薄 軽はずみでうわついでいて落ち着きのないさま。

## 編集後記

3月定例会では、本会議の代表質疑・一般質問の後、新年度予算案の審議を行い、市民の福祉医療、建設、教育など各議員の活発な質疑がありました。

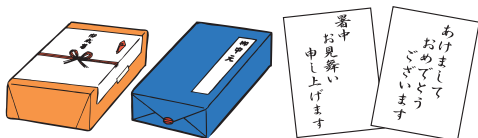
中でも、4月から市民病院の産婦人科医師が引き揚げられることで、各議員より医師確保を図り、産科の存続を求める質疑が相次ぎました。

第三次救急を始めて、市民から期待が高まっているとき、何とか医師確保ができればと願うものです。  
(高木)

## 皆さまのご理解とご協力を！

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が、**寄附**をしたり**有料のあいさつ**広告を出すこと  
儀礼的な**祝儀**、**香典**、**供花**を出すこと  
**お中元**やお**歳暮**を贈ること
- 議員が、**暑中見舞い**や**年賀状**などのあいさつ状を出すこと（自筆の答礼は除く）
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること



【ホームページアドレス】  
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>  
【メールアドレス】  
gikai-shomu @city.fukuyama.hiroshima.jp